

TOYOBO NOW

第164期 中間報告書

2021年4月1日～2021年9月30日



CONTENTS

- 株主のみなさまへ
- セグメント別業績の概要
- TOPICS
 - － 岩国事業所に高機能不織布の開発・製造拠点を新設
 - － 植物工場で業界最大サイズの野菜の通年安定生産を実現
- 業績ハイライト
- 会社の概要・株式の状況
- 株主メモ

株主のみなさまへ



代表取締役社長 兼 社長執行役員

竹内 郁夫

株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第164期中間報告書をお届けいたします。

上半期業績について

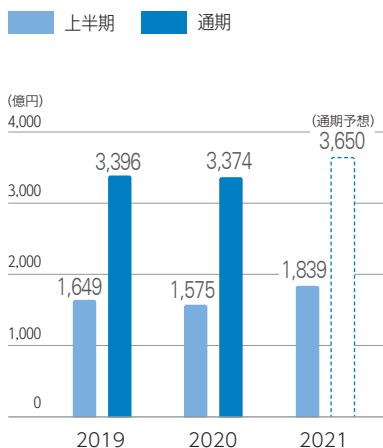
当第2四半期連結累計期間（以下、「当期間」といいます。）における当社グループを取り巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症の感染が再拡大するなか、金融緩和政策の継続に加え、先進国を中心としたワクチンの普及が経済活動の回復を下支えしたものの、景気は緩やかな回復にとどまりました。足元では、原燃料価格の急騰、半導体不足による自動車の減産、先進国と新興国のワクチン接種率の格差、中国の電力不足による一部

素材・部品の調達懸念等、経済の見通しは不確実性が高まっています。

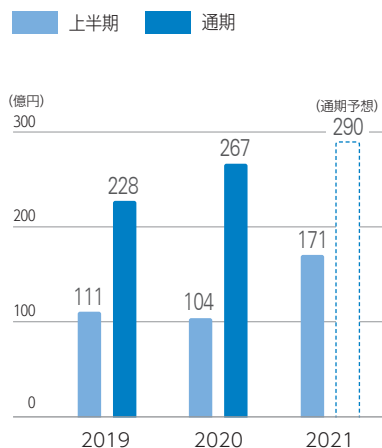
こうした事業環境のもと、「フィルム・機能マテリアル」では、液晶偏光子保護フィルム“コスモシャインSRF”、およびセラミックコンデンサ用離型フィルム“コスモピール”は、堅調な市況が続くなか、新ラインの稼働により、販売を伸ばしました。「モビリティ」では、世界的な自動車需要の回復に伴い、エンジニアリングプラスチック、エアバッグ用基布の販売は、堅調に推移しました。「生活・環境」では、スーパー繊維は、世界各地での需要が回復してきた一方、ポリエステル短繊維や長繊維不織布スパンボンドは、原料価格高騰の影響を受けました。「ライフサイエンス」では、世の中のPCR検査需要に応え、PCR検査用原料や試薬が販売を伸ばしました。

164中間 業績ハイライト

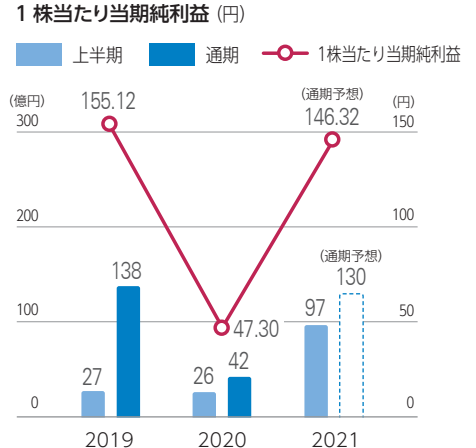
売上高（億円）



営業利益（億円）



親会社株主に帰属する当期純利益（億円）



以上の結果、当期間の売上高は前年同期比264億円(16.7%)増の1,839億円となり、営業利益は同67億円(64.2%)増の171億円、経常利益は74億円(127.0%)増の133億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同71億円(267.3%)増の97億円となりました。

通期業績の見通し

通期業績予想につきましては、第1四半期決算発表時(本年8月5日)に公表した数値から変更しておりません。売上高は3,650億円(前期比276億円増)、営業利益は290億円(前期比23億円増)、経常利益は240億円(前期比33億円増)、親会社株主に帰属する当期純利益は130億円(前期比88億円増)を予想しています。

配当について

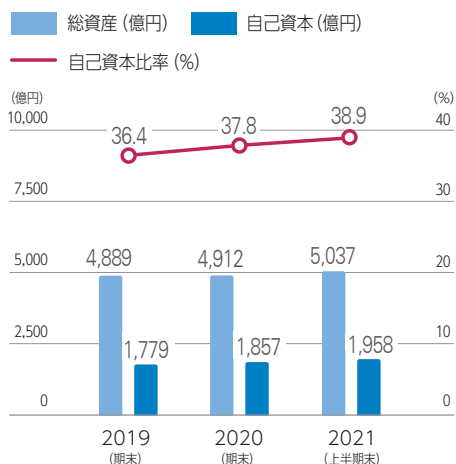
当社は、安定的な配当の継続を基本としつつ、持続性のある利益水準、将来投資のための内部留保、財務体質の改善などを総合的に勘案のうえ、総還元性向30%を目安として、自己株式の取得を含めた株主還元を行ってまいります。

上記方針を踏まえ、中間配当につきましては見送らせていただきましたが、期末配当は、現時点において1株当たり40円を予定しております。

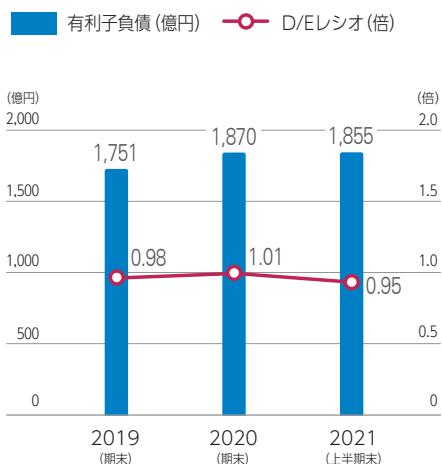
株主のみなさまにおかれましては、今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年12月

総資産・自己資本・自己資本比率



有利子負債・D/E レシオ



“COCOMI”サイクリングアンダーシャツを Amazon で販売開始



フィルム状導電素材“COCOMI”を使用した当製品はこちらで販売しています。



世界的なESG投資指数 [FTSE Blossom Japan Index] の構成銘柄に初選定

当社は、本年6月、ESG(環境・社会・企業統治)投資に関する世界的な株価指数である「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄として、初めて選定されました。



FTSE Blossom Japan

東洋紡グループ統合報告書 [TOYOBO REPORT 2021] を公開



持続的な成長に向けた戦略と具体的な取組みなどについて当社ウェブサイトにてご紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



<https://www.toyobo.co.jp/sustainability/report/>

セグメント別業績の概要

 <p>フィルム・機能マテリアル</p> <p>■ フィルム 包装用フィルムは、巣ごもり需要が継続しましたが、昨年の火災事故による販売減少、および原料価格高騰の影響を受け、苦戦しました。工業用フィルムは、堅調な市況を背景に、液晶偏光子保護フィルム“コスモシャインSRF”、およびセラミックコンデンサ用離型フィルム“コスモピール”の新ラインの稼働により、販売を伸ばしました。</p>	<p>売上高 859 億円 16.5%増 (前年同期比) 営業利益 122 億円</p> <p>■ 機能マテリアル 工業用接着剤“バイロン”は、エレクトロニクス用途の販売が堅調に推移しました。また、水現像型感光性印刷版を扱う光機能材料は、中国・欧州向けの販売が堅調に推移しました。</p>
 <p>モビリティ</p> <p>■ エンジニアリングプラスチック 原料価格高騰、半導体などの供給不安のなか、国内・海外ともに販売が堅調でした。</p>	<p>売上高 216 億円 43.5%増 (前年同期比) 営業利益 ▲9 億円</p> <p>■ エアバッグ用基布 販売は回復したものの、原料価格高騰により販売価格とのスプレッドが縮小し、苦戦しました。</p>
 <p>生活・環境</p> <p>■ 環境ソリューション 溶剤を回収するVOC処理装置は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、営業活動が停滞したため受注が減少し、苦戦しました。</p> <p>■ 不織布 長繊維不織布スパンボンドは、建材・自動車用途が堅調でしたが、原料価格高騰の影響を受けました。機能フィルターは、マスク向けの販売は減少しましたが、空気清浄機や自動車関連製品の販売が堅調でした。</p>	<p>売上高 547 億円 9.0%増 (前年同期比) 営業利益 19 億円</p> <p>■ 繊維機能材 スーパー繊維では、“イザナス”は釣糸用途やロープ用途の販売が堅調に推移し、“ツヌーガ”は世界各地での工場稼働の回復に伴い、耐切削手袋の販売が伸びました。ポリエステル短繊維は、原料価格高騰の影響を受け、機能性クッション材“プレスエアー”は、店頭販売が低調に推移しました。</p> <p>■ 衣料繊維 中東向け特化生地、インナー用途は、市況が回復したものの、スポーツ用途、ユニフォーム用途は、市況低迷が続き、販売が回復しませんでした。</p>
 <p>ライフサイエンス</p> <p>■ バイオ PCR検査用原料・試薬、遺伝子検査装置・診断薬の販売が拡大しました。</p>	<p>売上高 163 億円 32.3%増 (前年同期比) 営業利益 46 億円</p> <p>■ 医薬品製造受託 FDA対応のため、操業度を下げたことが影響し、低調でした。</p> <p>■ メディカル 人工腎臓用中空糸膜の販売が堅調に推移しました。</p>
 <p>不動産・その他</p> <p>不動産、エンジニアリング、情報処理サービス、物流サービス等のインフラ事業は、それぞれ概ね計画どおりに推移しました。</p>	<p>売上高 53 億円 13.3%減 (前年同期比) 営業利益 11 億円</p>

[営業利益 消去 全社18億円]

四半期連結貸借対照表の要旨 (単位:百万円)

科目	当上半期末 (2021年9月30日現在)	前期末 (2021年3月31日現在)	科目	当上半期末 (2021年9月30日現在)	前期末 (2021年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	216,589	212,963	流動負債	144,437	131,444
固定資産	287,098	278,225	固定負債	160,611	171,109
有形固定資産	228,231	224,640	負債合計	305,048	302,553
無形固定資産	4,562	4,674	純資産の部		
投資その他の資産	54,305	48,911	株主資本	154,109	147,989
			その他の包括利益累計額	41,706	37,740
			非支配株主持分	2,824	2,906
資産合計	503,687	491,188	純資産合計	198,639	188,635
			負債・純資産合計	503,687	491,188

岩国事業所に高機能不織布の 開発・製造拠点を新設

当社は、岩国事業所（山口県岩国市）に、高機能ポリプロピレン不織布の開発・製造拠点を新設します。

マスクや医療用防護服の部材である高機能不織布は、国内における安定供給の重要性が指摘されています。当社は、この課題解決に貢献するとともに、アフターコロナを見据え、耐久性や集じん効率などに優れた製品や、地球環境にやさしい原料を使用した製品の開発にも注力します。2022年7月の生産開始をめざし、今後、付加価値の高い不織布事業の拡大を国内外で推進していきます。



静電フィルター“エリトロン”

植物工場で業界最大サイズ※1の 野菜の通年安定生産を実現

東洋紡エンジニアリング株式会社は、同社が設計・施工した完全閉鎖型植物工場※2で、栽培環境を最適化したことにより、業界最大サイズのグリーンリーフやフリルレタスなどの安定生産に成功しました。サイズが大きくなると収穫量が増えるなど栽培の効率化が可能です。さらに、カット野菜の消費量増加を受け、加工・業務用に適した大きいサイズの野菜の需要が伸びています。今後、さらに環境制御技術の開発を進め、より多品種の野菜での安定生産を図ります。また、当社グループの水処理技術の活用により、コストパフォーマンス向上だけでなく、SDGsの目標達成に向けて環境に配慮した栽培の普及をめざします。



グリーンリーフのサイズ比較
左：100g 右：300g（植物工場）

※1：2021年6月22日現在、東洋紡エンジニアリング（株）調べ

※2：空調制御などにより環境をコントロールすることで無農薬での栽培ができる室内型の植物工場

四半期連結損益計算書の要旨 （単位：百万円）

科目	当上半期累計 （自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日）
売上高	183,864
売上原価	134,417
売上総利益	49,447
販売費及び一般管理費	32,335
営業利益	17,112
営業外収益	866
営業外費用	4,673
経常利益	13,305
特別利益	0
特別損失	1,838
税金等調整前四半期純利益	11,467
法人税等	1,824
四半期純利益	9,643
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△61
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,705

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨 （単位：百万円）

科目	当上半期累計 （自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,801
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 14,515
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,747
現金及び現金同等物に係る換算差額	36
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 8,426
現金及び現金同等物の期首残高	34,526
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	5
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,105

（記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております。）



会社の概要・株式の状況

(2021年9月30日現在)

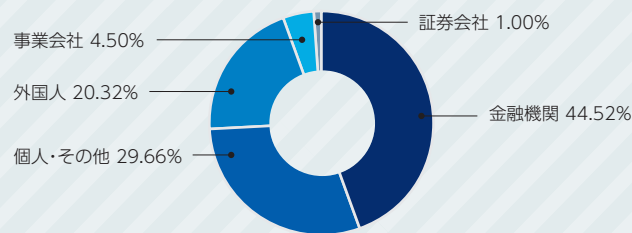
社名	東洋紡株式会社
英文社名	TOYOBO CO., LTD.
証券コード	3101
創立	1882年(明治15年)5月3日
設立	1914年(大正3年)6月26日
資本金	51,730,003,166円
本社	大阪市北区堂島浜二丁目2番8号 (代表 06-6348-3111)
東京支社	東京都中央区京橋一丁目17番10号
名古屋支社	名古屋市中西区市場木町390番地
従業員数	連結 10,475名 単体 3,868名

発行可能株式総数 200,000,000株

発行済株式の総数 89,048,792株
(自己株式151,664株含む)

株主数 56,906名

株式分布の状況(所有者別)



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12,308	13.85
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	7,533	8.47
全国共済農業協同組合連合会	3,558	4.00
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	2,192	2.47
東洋紡従業員持株会	1,971	2.22
東友会	1,873	2.11
日本生命保険相互会社	1,750	1.97
株式会社かんぽ生命保険	1,615	1.82
明治安田生命保険相互会社	1,402	1.58
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,382	1.56

(注)持株比率は、自己株式(151,664株)を控除して計算しています。

関係会社

	国内	海外	計
連結子会社	21	30	51
持分法適用会社	4	2	6
計	25	32	57



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで (期末の配当金受領株主確定日 3月31日)
定時株主総会	6月に開催します。
基準日	定時株主総会の基準日は3月31日です。 その他必要のあるときは、あらかじめ公告して定めます。
単元株式数	100株
公告掲載ホームページアドレス	https://www.toyobo.co.jp 電子公告による公告ができない場合、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒540-8639 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っています。

各種手続のお申出先

- 住所変更、配当金の受け取り方法のご指定、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

区分	お申出先
証券会社でお取引をされている株主さま	株主さまの口座のある証券会社
特別口座(証券会社に口座のない)の株主さま	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (上記、電話照会先をご参照ください。)

未払配当金の支払について

- 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

三井住友信託銀行株式会社ウェブサイト
株式に関するお手続き・よくあるご質問はこちら



単元未満株式(1~99株)をお持ちの方へ

単元未満株式をお持ちの場合、当社に対して、次の請求を行うことにより、売却または100株におまとめいただくことができます。ぜひ、以下の制度をご利用ください。

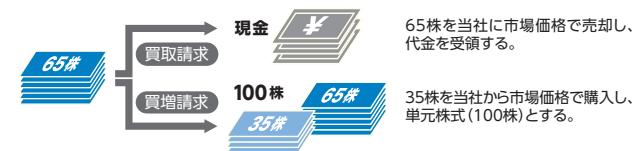
買取制度	単元未満株式の買取を請求する。	買増制度	単元株式(100株)にするため、不足する株数の株式の売り渡しを請求する。
-------------	-----------------	-------------	--------------------------------------



株主・投資家情報はこちら
<https://ir.toyobo.co.jp/ja/ir.html>

本報告書掲載のTOPICSにつきましては、2021年9月30日時点の情報です。

(例) 当社株式65株をお持ちの場合



お手続き方法につきましては、上記のお申出先へお問合せください。

